むすび プロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、
その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつである、
毎月配信しているＬＩＮＥでの情報発信までの道のりをご紹介いたします。

LINE配信までの道のり

配信日は毎月第1（土）※現時点の配信日になります。

左図の通り、LINE配信は皆さんのアンケートが出発点となります。その結果でテーマを決定します。テーマによって、看護師、理学療法士、栄養士、ソーシャルワーカーなど各専門職が作成します。更に、動画や資料が一般の方にも伝わりやすいか、内容に間違いがないかなど、医師も含めた医療従事者が確認後にLINEでの配信となります。

LINEの登録は、入院患者さん及びその身内の方に限らせていただいておりますが、QRコードから過去に配信した資料や動画をご覧いただけます！

今後も、皆さんの健康にお役に立てるよう配信して参りますので、LINEに登録されている方は、アンケートの回答にご協力いただきます様お願いいたします。

▲ ホームページのQRコード

交通のご案内

お車でのご来院

- 東北自動車道　宇都宮ICより約40分
- 東北自動車道　鹿沼ICより約30分
- 北関東自動車道　宇都宮上三川ICより約20分
- JR宇都宮駅東口より鬼怒通りを進み約6分

公共交通機関でのご来院

- LRT

「JR宇都宮駅東口」停留場より約5分

最寄停留場名

「陽東3丁目（新宇都宮リハビリテーション病院前）」 より徒歩3分

カマチグループ
一般社団法人 巨樹の会
新宇都宮リハビリテーション病院

〒321-0941
栃木県宇都宮市東今泉2丁目5番31号
TEL 028-666-4880
FAX 028-666-4887

当院HP

一般社団法人 巨樹の会　新宇都宮リハビリテーション病院

新宇都宮タイムズ

Shin-Utsunomiya Rehabilitation Hospital PR Magazine

2024 Vol.07

CONTENTS

2 | ・病院機能評価
3 | ・医療安全に関する研修会
・栃木県医療社会事業協会学会
4 | ・宮っこチャレンジ
・ふれあい看護体験
・看護補助体験参加者募集
5 | ・行事食
6 | ・リハビリテーションスタッフご当地自慢
・体操（腕を鍛えよう！）
7 | ・七夕祭り
・屋上リハガーデンの野菜達～成長記録～
8 | ・むすびプロジェクト
・交通のご案内

「病院機能評価」は
日本医療機能評価機構による評価です

公益財団法人　日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

（公財）日本医療機能評価機構とは

日本医療機能評価機構は、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的に設立された公益財団法人です。
質の高い医療を実現するために、病院機能評価をはじめ、医療安全に関する教育研修、医療事故情報のデータベース、診療ガイドライン等の提供など、幅広い事業を実施しています。

患者さんの命と向き合う病院には、その医療の質を担保するために備えているべき機能があります。
国民の健康と福祉の向上に貢献することを目的とする公益財団法人として1995年に設立された日本医療機能評価機構は、病院が備えているべき機能について、中立・公平な専門調査者チームによる「病院機能評価」審査を行い、一定の水準を満たした病院を「認定病院」としています。

約90項目の病院機能を専門調査者が審査し評価しています

評価を行う項目は「患者さんの視点に立って良質な医療を提供するために必要な組織体制」や、「実際に医療を提供するプロセス」、「病院全体の管理・運営体制」など、約90項目があります。
信頼できる医療を確保することを目的に、専門調査者が病院の機能を評価することで、その病院の課題を明らかにして医療の質改善を支援するものです。

この度、初めて公益財団法人　日本医療機能評価機構による「病院機能評価」を受審いたしました。審査は、「患者さん中心の医療の推進」、「良質な医療の実践」、「理念達成に向けた組織運営」の項目でした。第三者評価によって審査を受けることにより、当院の医療の質向上に繋がることができました。各部署においても、医療の質向上・業務改善・多職種連携等、医療機能の向上をより一層高めることができたと思っております。

事務長　岩瀬

診療部	多職種連携をより一層図ることができるようになりました。
看護部	業務マニュアルの見直しを行うことができ、職員の業務効率化に繋がりました。また、職員の業務改善意識が高まり、より質の高い医療を提供できる態勢に繋がりました。
医療技術部	受審前と比べて業務の改善が図れ、多職種連携がより一層深まりました。患者さんへの質の高い医療提供に繋がりました。
事務部	業務態勢の見直し、マニュアルの見直しが行え、効率化、業務ミスの軽減に繋がりました。書類管理の効率化に繋がりました。
医療連携室	今までの業務を見直し、フローチャートを作成する機会になりました。他職種との繋がりがより一層分かり、業務の効率化に繋がりました。

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第 JC2559 号

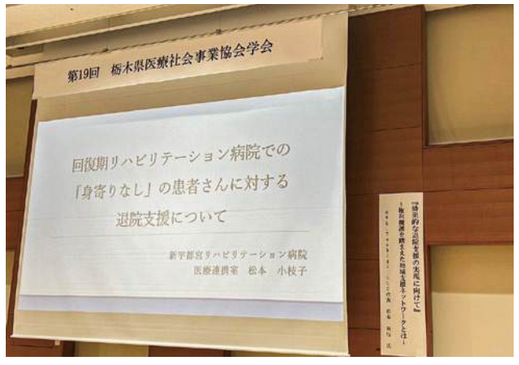
今回の受審により、得られた知識・態勢をさらに向上させ、患者さんへの質の高い医療の提供や業務の効率化を図り、より良い病院を築いてまいります。

医療安全に関する研修会

令和6年7月22日に医療事故防止のため「医療事故の実際」をテーマとした研修を行いました。当院での発生が多い医療事故についての実態を知ってもらうことで、各スタッフの医療事故への意識向上に繋がると考えました。実際に研修後のアンケートでは、「発生の多い医療事故を知ることができ、注意すべきことが明確になった」「医療事故の発生リスクを日々考えながら業務をこなしていきたい」という意見が多く見受けられ、目的であった意識向上に繋げられた研修となりました。
新宇都宮リハビリテーション病院として開院し約2年が経ちました。当院とカマチグループ全体での医療事故の統計から、いつ・どこで・どのような医療事故が多く発生しているかの傾向が視えてきました。統計結果を基に、医療事故防止の対策を練りつつ、医療事故が発生した際の対応がスムーズに行えるように、今後はフローチャートの作成を医療安全委員会で取り組んでいきます。

看護師　阿久津

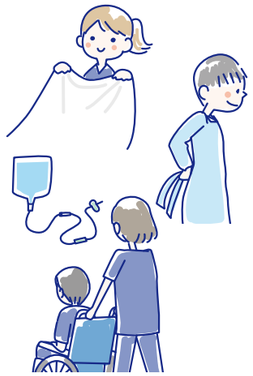
栃木県医療社会事業協会学会



令和6年7月20日に栃木県医療社会事業協会学会に参加しました。
講演では、能登半島地震でDMAT、DPATに参加した医療ソーシャルワーカー（以下MSW）の話を聞き、災害支援でMSWが役に立てることがあることを知ることができました。また、DWATと言う災害派遣福祉チームがあることも知り、ソーシャルワーカーとしてできることが幅広くあることを改めて感じました。
他にも、成年後見や介護支援専門員も担うなど、幅広く活躍されているOWL.Tochigi　LLC代表の松本様より支援をしたケースについて、話を聞くことができました。MSWに求めることは、課題に対して連携して支援を行う「仲間を探して欲しい」との言葉が印象的でした。
一般演題では、2つの病院のMSWが事例報告と退院支援をスムーズに行うシステムの構築について発表がありました。当院からも、松本MSWが事例を発表し、身寄りがない患者さんの支援について報告をしました。MSWには、多分野・多職種との連携が更に求められていることを感じました。今回の学会での学びを活かして、日々の業務に役立てていきたいと思います。

医療連携室　益田

宮っこチャレンジ



令和6年6月10日～14日の5日間に陽東中学校の2年生3名が、社会体験学習「宮っこチャレンジ」に来ました。

看護部ではシーツ交換、点滴管理や個人防護具の着脱方法、車椅子やストレッチャーによる移送方法等の看護業務を体験してもらったり、また、実際の患者さんと会話し、コミュニケーションを図ってもらいました。

リハビリテーション課ではドライブシミュレーターや、リハビリテーションの器具を使用した実際のリハビリテーションを体験してもらいました。

体験を通して、「患者さんとのコミュニケーションの大切さ」「医師や看護師、リハビリテーションスタッフの業務を知ることができた」等、それぞれの発見や学びに繋がったようです。今回の社会体験を通して、医療職に興味を持ち、将来の夢にむかって歩んでいってほしいです。

看護部　笠間

ふれあい看護体験

令和6年7月26日にふれあい看護体験が行われ、医療関係の仕事に興味のある高校生10名が当院に来てくれました。

実際の看護場面を見学していただき、AED操作の体験、血圧測定や採血練習用具を用いて採血の体験も行ってもらいました。また、リハビリテーションの見学や、実際に患者さんとコミュニケーションを図り、「実際に体験できてイメージがついた」「何になるか決まってなかったが、リハビリテーションもいいなと思った」「どのように、患者さんと接すればいいかがわかった」等の声が聞かれました。

私達職員も、初心を思い返す機会となり、看護の素晴らしさを改めて感じることができました。

看護部　笠間

随時参加受付中 看護補助体験参加者募集

令和6年9月から毎月2回実施！10月以降も毎月実施しています。
昼食は当院で準備させていただきます♪

体験内容

- 病院、病棟見学　• シーツ交換体験　• 特殊浴体験　• とろみ水の作成体験
- 車いす、ストレッチャー体験　• 感染対策体験（ガウン、マスク、手袋着脱）
- 模型を使用したオムツ着脱体験　など

一緒に働くなかま募集中

- 未経験の方、大歓迎！　• 医療現場以外からの転職が増えています！
- 資格、免許は一切必要ありません！　• 常勤、パート相談可能♪
- 賞与4.2～4.5ヶ月分支給（常勤のみ）　• 残業ほとんどなし
- 定年65歳　• 充実した福利厚生！

**看護補助者って
どんな仕事なんだろう？？**

興味はあっても仕事内容がわからずに一歩を踏み出せない、そんな悩みをお持ちではありませんか？

大切なその一歩、当院で踏み出してみませんか♪

たくさんの
ご応募お待ちして
おります！

お気軽にお問い合わせください♪

☎028-666-4880

新宇都宮リハビリテーション病院 看護部

行事食

毎日の食事の中でも患者さんが
季節感を感じられるように
月に1回行事食の提供を行っています。

4月 春のお花見メニュー

たけのこご飯
天ぷら(エビ・かき揚げ・しそ)
春キャベツの梅おかか和え
菜の花のすまし汁
桜ようかん

5月 初夏の味覚御膳

穴子丼
新生姜とオクラの和え物
すまし汁
小豆入り抹茶ようかん

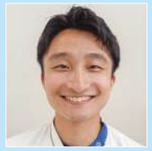
6月 お楽しみ献立

翡翠ご飯
鶏肉の薬味だれ
長芋とオクラのさっぱり和え
紫陽花ゼリー
すまし汁

7月 七夕

七夕そうめん
天ぷら(若鶏のしそ天ぷら・ナス・南瓜)
冬瓜のエビあんかけ
七夕ゼリー

リハビリテーションスタッフ ご当地自慢



木津
出身地：青森

私は青森県十和田市というところで生まれ育ちました。十和田市といえば十和田湖が観光スポットとしてとても有名で、その季節ならではの景色を楽しむことができます。また十和田市では牛肉と玉ねぎを醤油ベースの甘辛いタレで炒めたバラ焼きというB級グルメが有名です。白ご飯、ビールと相性抜群です。

内藤
出身地：神奈川

横浜は横浜港や山下公園、横浜中華街などの歴史的な街並みと、みなとみらいのような都会的な高層ビル群にみられる近代的な建物が調和しているところが魅力です。食べ物では崎陽軒のシウマイ弁当や横浜系ラーメンなど美味しいものがたくさんありますので、皆さんぜひ足を運んでいただけたら幸いです。

小松
出身地：山形

私の出身地は山形県山形市で、ラーメンの消費量が日本一なんです。もちろん私もラーメンが大好きで地元で外食といえばラーメンで決まりです。夏にはご当地グルメの冷やしラーメンもあるので、山形に来た際はぜひ食べてみてください。

倉澤
出身地：群馬

僕の出身の群馬県は控えめに言って最高です。47都道府県魅力度ランキングは下位を迷走中ですが、常々群馬県民（グンマー）は納得出来ていません。住めば都、いや住まなくとも都です。群馬の魅力が多すぎるので、ここでは1つのみ抜粋させていただきます。それは温泉です。草津温泉、伊香保温泉、四万温泉、万座温泉と、どの温泉をとってもピカイチ。是非皆さん群馬県に遊びに来てください。なんなら、住んじゃってください。

体操
腕を鍛えよう！

1 ひじをまっすぐ伸ばし手のひらが正面を向くようにしよう！

この時ひじ先が左右に傾かないようにしよう

2 力こぶを作るように ひじを曲げる

応用編

出来る方は
挑戦してみましょう！

1 曲げる・伸ばす動作をゆっくり反動をつけないように

2 ペットボトル（重り）を重いものに

やってみよう！

七夕祭り

令和6年7月5日「七夕祭り」を開催しました。患者さんに四季を感じていただき、認知機能の活性化や活力の向上を目的としています。

各病棟に設置した笹に、患者さんが折り紙で作っていただいた飾りと、願いをこめた短冊をつけました。

「七夕祭り」当日は、射的・ヨーヨーすくい・スーパーボールすくい・輪投げ・うちわの絵付けの屋台を設置しました。患者さんの笑顔がたくさんみられて、患者さん職員とも楽しいひとときを過ごしました。

昼食も、七タイベント食として天の川をイメージした素麺を提供し、味覚でも七夕を楽しんでいただきました。

総務課　丸山

6階

屋上リハガーデンの野菜達

成長記録

▲ 野菜は、入院の患者さんと職員で作業を行いました。
（応用動作の一環として行う事があります。）

▲ ぐんぐんと大きくなりました。

野菜の種類

- ナス
- オクラ
- きゅうり
- ピーマン